

協働のまちづくり活動支援事業 活動報告（中間報告）

実施事業名	あそびの輪を広げよう		
団体（グループ）名	えべつあそび場 創造プロジェクト	代表者名	金子 大吾
地域の課題 ① [課題を何と考えて事業を行った（行く）のか]	当会あそプロでは以下の3つを目的として活動しています。 1. 子供たちのあそび場、保護者の休息の場をつくる 2. 住民同士の交流の場をつくる 3. 地域施設と住民のつながりをつくる 新型コロナウイルスの影響下で市民の皆さんが不自由な思いをされている中でも安心してあそべる場を提供すること、他団体と連携してこれまでより幅広い年齢の子供たちが遊べる環境を作ることが本年度の目標です。		
② いつ [事業実施日時]	①毎月第1日曜日13時～15時30分(定期開催) ②毎月第4日曜日13時～15時30分(定期開催)		
③ どこで [場所]	①ココルクえべつ あそびの会 in ココルク ②まごころハウス緑町 あそびの会 in まごころ ※あそびの会 in れのん、静苑ホームはコロナの影響で本年度実績なし		
④ 誰のために [対象者]	あそび場地域を主とした市内在住の子供たちとその保護者を対象としています。 (市外からの参加の制限はしていません)		
実施内容・進捗状況 ⑤ [どんなことをした（する）のか]	コロナの影響であそびの会の定期開催ができない時期がありましたが、本年度オープンしたココルクえべつにはたくさんの子供が訪れ、毎日にぎやかな会が開催できています。 また、キッチンカーフェスと同時開催した日は230名の参加がありましたが、他団体からのお手伝いもあって乗り切ることができ、連携の効果を感じています。		
事業の効果 ⑦ [どんな効果があった（ある）か]	まごころハウスのあそびの会はコロナの影響もあって参加人数の低迷が続いています。ですが、最近はココルクの参加者から「まごころのほうにも行きたい」という声が聞こえ始めており、安心して自由にあそべる場であると認識されていると感じています。 また、ココルクでは子供向けのイベントを行う団体間で一部のおもちゃを共有したり、お互いのイベントで手伝いあうことで、負担の軽減だけでなく弱みのカバーや強みを生かすことができています。		
⑧ 事業の展望 [今後どうするのか]	【直近の予定】 あそびの輪をさらに広げられるよう、新しいあそび場を画策中です。 【長期的な展望】 あそびの会は負担の小さなイベントのため、興味のある方にノウハウの提供をすることで、市内各所であそびの会が開催されるようにしたいと考えています。		

自由記載欄（事業に関連する写真やチラシ、PRなど）

